

平成31年3月4日

大会概要

特定非営利活動法人 地学オリンピック日本委員会

「グランプリ地球にわくわく2019」の大会開催について

NPO法人地学オリンピック日本委員会では、国際地学オリンピックに派遣する高校生を選抜する事業を行っています。このたび、科学技術振興機構、つくば科学万博記念財団、日本地球惑星科学連合ほかとの共催、ならびに、特別共催として茨城県、つくば市、筑波大学、産業技術総合研究所地質調査総合センターほかの協力を得て、茨城県つくば市において、第11回日本地学オリンピック本選（兼第13回国際地学オリンピック・韓国大会国内二次選抜）として、合宿形式の大会「グランプリ地球にわくわく2019」を開催いたしますので、その概要を報告いたします。

1. 大会名称 : グランプリ地球にわくわく2019
2. 参加資格 : 第11回日本地学オリンピック予選で合格した中学3年生～高校2年生
3. 参加者 : 58名（中学3年生7名、高校1年生19名、高校2年生32名）
4. 日程/場所 :

3月10日	13:30～	開会式（筑波銀行本部ビル10階大会議室）
	14:00～17:00	とっふ・レクチャー（筑波銀行本部ビル10階大会議室）、
	19:15～21:00	外国人留学生との討論会（筑波研修センター）
3月11日	9:00～12:30	筆記試験・標本鑑定試験（筑波大学総合研究棟A棟）
	14:00～17:00	研究所見学 （国立科学博物館、防災科学技術研究所、国立環境研究所）
	19:00～21:00	OBとの交流会（筑波研修センター）
3月12日	9:00～12:30	研究所等見学 （国土地理院・地図と測量の科学館、産業技術総合研究所・ 地質標本館、筑波山地域ジオパーク）
	13:00～14:00	表彰式（つくばカピオホール）
5. 主催 : NPO法人地学オリンピック日本委員会

（お問い合わせ）

NPO法人地学オリンピック日本委員会事務局 瀧上、大本

電子メールアドレス : esolympiad@yahoo.co.jp 電話 : 090-1772-7395(瀧上携帯)

【参考資料】

◆ 参加生徒について

- 男女別参加人数 : 男子53名、女子5名
- 学校種別参加人数 : 国公立学校22名、私立学校36名
- 都道府県別参加人数 (学校所在地):
 - 北海道地方 北海道1名
 - 関東地方 東京都17名、神奈川県5名、千葉県1名
 - 中部地方 石川県2名、静岡県1名、愛知県5名
 - 近畿地方 京都府2名、大阪府2名、奈良県3名、兵庫県6名
 - 中国地方 広島県8名、鳥取県1名、山口県1名
 - 四国地方 愛媛県1名
 - 九州地方 福岡県2名

◆ 大会の内容

○とっぷ・レクチャー

(2019年3月10日14時～17時、筑波銀行本部ビル10階大会議室)

- ・参加生徒の研修の一環として行われる地球惑星科学の研究者による講演会。
- ・地球惑星科学ならびに地学の普及と振興のため、一般にも無料公開 (<http://jeso.jp/>より事前登録が必要)。
- ・講演者/講演タイトル (講演順)
 1. 八木 勇治 (筑波大学)
「東日本と西日本で発生する地震は何が違うのか？」
 2. 山崎 誠子 (産業技術総合研究所)
「放射性元素から知る岩石の年代？」
 3. 鈴木 真一 (防災科学技術研究所)
「竜巻と大気中の渦」
 4. 佐野 貴司 (国立科学博物館)
「海底に沈んだ超巨大火山の謎」

○外国人留学生との討論会

筑波大学に在学する外国人留学生と英語での交流を行う。

○筆記・標本鑑定試験の概要

- ・2019年3月11日に筑波大学にて実施。
- ・試験は、地質、固体地球、気象、海洋、天文の各分野での記述式問題と標本 (岩石・鉱物・化石) の鑑定問題。

○研究所見学

3月11日、12日に、バス3台に分乗して、地球惑星科学関連の研究所等を訪問し、専門の研究者より説明を受ける。

○OBとの交流会

過去本選や国際大会に出場した学生OBとの交流を行う。国際大会でのエピソードや現在OBが大学で研究している内容などの紹介がある。

○表彰式

予選と本選の合計点の成績上位者10名を金賞として表彰。その中から成績の最優秀者に茨城県知事賞、次席の生徒につくば市長賞が授与される。また、銀賞として成績上位11位～20位を、銅賞として21位～30位を表彰する。さらに、成績最優秀中学生につくば科学万博記念財団理事長賞、成績最優秀女子生徒に日本地球惑星科学連合賞、標本鑑定で成績優秀者に産総研地質調査総合センター賞が授与される。

◆ 第11回日本地学オリンピック

○国際地学オリンピックに派遣する代表生徒を決めるための選抜試験で毎年開催。

・第11回日本地学オリンピック予選

2018年12月16日13:30～15:30に、全国71会場（大学会場43、高校会場26、その他2）でマークシート方式の試験を実施。応募者数1952名・受験者数1600名で、予選合格者は75名。

・第11回日本地学オリンピック本選

「グランプリ地球にわくわく2019」として実施。予選合格者のうち、国際地学オリンピック派遣対象者となる中学3年生～高校2年生58名が参加予定。このほか、中学1・2年生の予選合格者3名がチャレンジ受験として、またオブザーバーとして中学3年生1名が参加予定。

◆ 第13回国際地学オリンピック・韓国大会 代表選抜試験

・2019年3月12日表彰式後～13日午前中に筑波研修センターにて実施。

・第11回日本地学オリンピックの金賞10名を対象とし、英語による集団討論や面接等を行い、日本代表4名を選抜。

◆ 国際地学オリンピック（International Earth Science Olympiad、略称IESO）

○高校生のための科学オリンピックの一つで、国際地学教育機構（International Geoscience Education Organization、略称IGEO）の主要活動として創設。

○毎年開催される大会で、IESO参加国・地域が持ち回りで主催。

○第1回大会は2007年に韓国にて開催、日本は2008年の第2回大会（フィリ

ピン) から参加し、それ以降、毎年4名の高校生を派遣。

○大会の主な活動は、地学に関する筆記試験・実技試験（成績上位者にメダル授与）と、共同研究を疑似体験する国際協力野外調査などの国際交流活動。

日本代表は今まで全員メダルを授与されている。

○2019年は、第13回国際地学オリンピックが、8月26日～9月3日の日程で韓国・大邱にて開催。3月13日に選抜された4名の日本代表者は、その後通信研修や合宿研修を受けたうえで国際大会に望む。なお、4名の日本代表者のプレスリリースは3月下旬予定。

以上